

指導計画 ※「目標設定」「現在地確認」「まとめ」を帰りの会に、  
「資源探し」を（２）イに、それぞれ振り分けて計画した案。

| 月 日                   | 教科等                               | ワーク                 | ねらい  | 主な学習内容  |
|-----------------------|-----------------------------------|---------------------|--|---|
| 10月4日<br>～<br>10月10日  | 帰りの会<br><br>1回15分<br>として4<br>回行う。 | <b>1 目標設定</b>       | 「最高クラス」の具体的な姿のイメージを明確にすることができるようにすると共に、自分自身の行動目標が明確にもてるようにする。                  | <p><b>○学級目標を具体的な姿で表現する</b><br/>学級目標が達成されたときの具体的な姿をイメージする。「どういう場面でどんなことをしているか」という視点で考え、具体的な姿を目指すゴールとして設定する。</p> <p><b>○自分の行動目標を確認する</b><br/>ゴールである「最高のクラス」に近付くために、自分は何ができるか、具体的な姿で目標を設定する。</p>   |
| 10月11日<br>～<br>11月1日  | 帰りの会                              | <b>2 振り返り</b>       | 日々の生活の中で見られたよい行動を伝え合い、実践への意欲を高められるようにする。                                       | <p><b>○お互いの「よさ」を探し、言葉で伝え合う</b><br/>帰りの会の中で伝え合う場を設定し、二人組でその目見られた互いのよい行動を伝え合う。伝え合った言葉を付箋紙に記入し、カードに添付してストックしていく。この活動毎日継続して行う。</p>  |
| 10月16日<br>～           | 帰りの会<br><br>1回15分<br>として3<br>回行う。 | <b>3 現在地確認</b>      | 目標に対する達成度の確認をすると共に、目標に近づくための具体的な行動目標を明確にもつことができるようにする。                         | <p><b>○今、目標の何合目か、あと一合登るには何が必要か考える</b><br/>目標への過程を山登りに例え、今何合目を登っているところか確認し、その理由を話し合う。又、あと一合登るためには何が変わっていればいいのか話し合うことにより、これから取り組むべき具体的な目標を明確にする。</p>  |
| 10月18日                | 学級活動<br>(2)イ                      | <b>4 資源探し</b>       | 自分の「よさ」を確認したり、気付かなかった「よさ」に気付いたりすると共に、友達の「よさ」を見付けたり、気付かなかった「よさ」に気付くことができるようにする。 | <p><b>○自分の「よさ」を確認する。</b><br/>「最高のクラス」に近付くために生かせる自分自身の「よさ」を考える。同様に、友達の「よさ」についても考える。</p> <p><b>○リフレーミングを知り、やってみる。</b><br/>リフレーミングについて知り、練習することにより、視点を変えた見方ができるようにする。</p> <p><b>○新たな「よさ」(隠れている長所)を探し合う</b><br/>今まで気付かなかった自分の「よさ」や強み、友達の「よさ」や強みについて考える。</p>                           |
| 10月22日<br>～<br>10月26日 | 教科授業                              | <b>5 教科授業での振り返り</b> | 教科授業の中での頑張りを認め合うと共に、実践への意欲を高められるようにする。   | <p><b>○教科授業の中で、お互いの「よさ」や頑張りを認め合う</b><br/>教科授業の最後で、評価用紙に頑張ったことや頑張りを記入したり、発表したりすることで、教科授業でのお互いの「よさ」認め合えるようにする。この活動を一週間継続して行う。</p>   |
| 10月24日                | 学級活動<br>(2)オ                      | <b>6 態度化・行動化</b>    | ロールプレイングやこれまでに態度化・行動化できていることを振り返ることにより、「自己肯定思考」を態度化・行動化しようという意欲を高められるようにする。    | <p><b>○「自己肯定思考」を態度化・行動化するためのワークを行う</b><br/>場面を設定してロールプレイングを行い、よりよい態度・行動について考える。よりよい態度・行動について考えることにより、態度化・行動化につなげられるようにする。</p> <p><b>○これまでの頑張りを振り返り、態度化・行動化できていたことを確認する</b><br/>付箋紙を貼り付けたカードや「現在地確認」の掲示物などを見ながらすでに態度化・行動化できている「自己肯定思考」を紹介し合い、今後も「自己肯定思考」を大切にして態度化・行動化できるようにする。</p> |
| 11月1日<br>～            | 帰りの会<br><br>1回15分<br>として3<br>回行う。 | <b>7 成長の振り返り</b>    | 学級や自分自身が成長したことに気付くことができると共に、今後も継続して行動しようという意欲を高められるようにする。                      | <p><b>○「最高のクラス」(ゴール)にどれくらい近付けたか評価する</b><br/>これまでの記録(ワークシート・掲示物など)を参考にしながら、どの程度達成できたか、現在地を確認する。また、その理由も明らかにする。</p> <p><b>○「自己肯定思考育成ワーク」に取り組んだ感想などを話し合う</b><br/>これまでの記録(ワークシート・掲示物)を振り返ったり、友達と意見交換をしたりして、自分の成長を実感できるようにする。</p>  |